

平成 16 年度

総務局予算要求方針

- 目 次 -

- 1 平成 16 年度総務局予算要求総括表.....1
- 2 16 年度予算要求にあたっての基本的考え方.....2
- 3 予算要求の重点事項.....4
 - 元気な経済が生まれ・安心して働ける街さっぽろ
 - 健やかに暮らせる共生の街さっぽろ
 - 世界に誇れる環境の街さっぽろ
 - 芸術・文化，スポーツを発信する街さっぽろ
 - 市役所改革及び市民自治の推進
 - その他
- 4 事務事業の見直し.....10

1 平成 16 年度総務局予算要求総括表

【一般会計】

(単位：百万円)

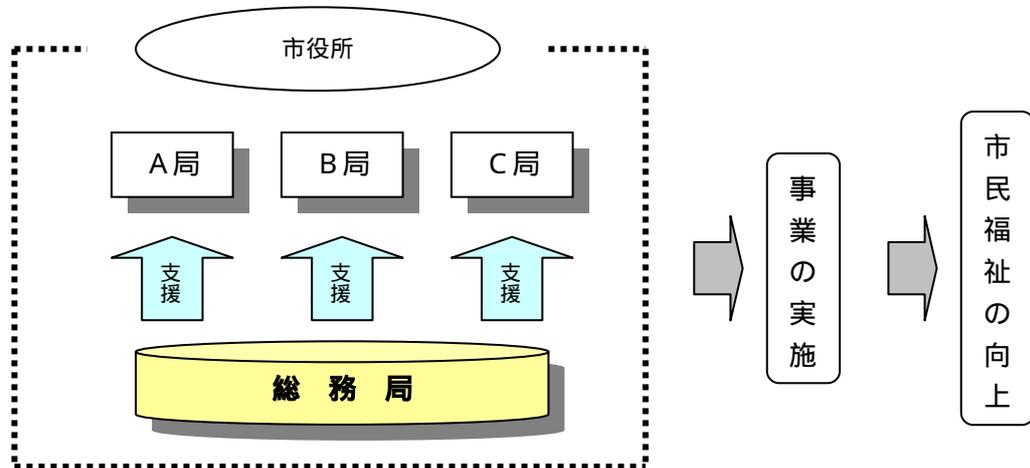
区 分	平成 15 年度 予 算 額 A	平成 16 年度 要 求 額 B	増 減 額 B - A	増減率 (B - A) / A
行政部	2,306 (1,920)	2,555 (2,180)	249 (260)	10.8% (13.5%)
秘書部	98 (97)	96 (96)	2 (1)	2.0% (1.0%)
広報部	1,004 (872)	970 (864)	34 (8)	3.4% (0.9%)
国際部	525 (442)	530 (447)	5 (5)	1.0% (1.1%)
職員部	112,597 (111,579)	107,880 (106,925)	4,717 (4,654)	4.2% (4.2%)
東京事務所	124 (90)	127 (126)	3 (36)	2.4% (40.0%)
合 計	116,654 (115,000)	112,158 (110,638)	4,496 (4,362)	3.9% (3.8%)

- 1 ()内は一般財源額
- 2 派遣職員に係る人件費を含まず。
- 3 行政部には市役所改革推進室の予算を含む。
- 4 職員部には一般会計職員の人件費を含む。

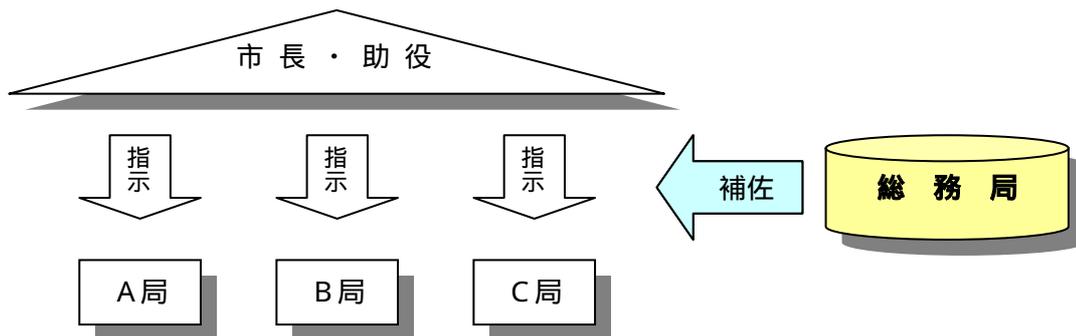
2 16 年度予算要求にあたっての基本的考え方

市役所の中で、総務局が果たす役割は主に3つあります。

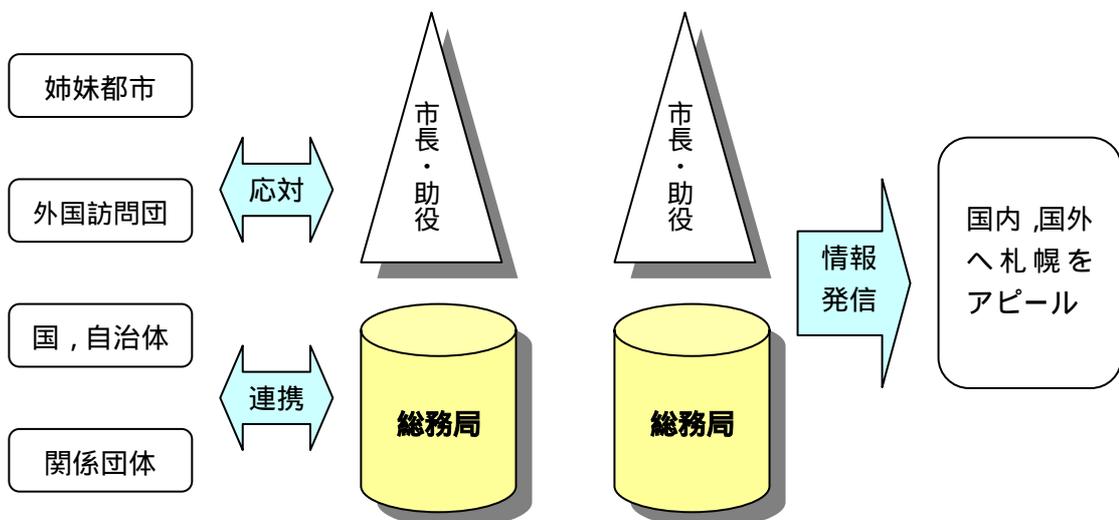
(1) 市民福祉向上のため、各局の事業の推進を支援すること



(2) 市長・助役などのリーダーシップの発揮を補佐すること



(3) 札幌市を代表して国内外にわたる応対・連携や情報発信を行うこと



総務局では、これらの役割を十分に果たすために、2つの考え方を中心

に据えて 16 年度の予算要求を行うこととします。

1 「さっぽろ元気ビジョン」の実現に向けた予算要求を行うこと

これからの札幌のまちづくりの基本となる「さっぽろ元気ビジョン」は 3 つの目標から成り立っています。

市民自治を推進すること

経済、共生、環境、文化及び教育の各分野において質の高いまちづくりを推進すること

市役所改革を推進すること

総務局では局の果たすべき役割なども考え合わせ、の「市民自治の推進」、及びの「市役所改革」に重点的に取り組む必要があると考えています。

それは、現在、市民の皆さんの間で「私たちの地域のことは私たちが決める！」という自治意識が高まりつつあることと関係しています。これまで、総務局はこのような現状を、各局にもっと認識してもらえるように、また、市民の皆さんの自治意識の高まりを反映した事業を、各局が実施できるように各局を支援してきました。今後は、各局を支援するだけでなく、自治意識が市民の皆さんにもっと広がるような取組みを自ら進めていきたいと考えています。

また、事業を実施するにあたっては、その取組みの土台となる市役所そのものを市民の皆さんの視点から改革し、市長・助役がリーダーシップを発揮しやすい組織としなければなりません。全市が一丸となって「さっぽろ元気ビジョン」をスムーズに実現し、確固たるものとするには、まず市役所自身が変わらなければならないと考えています。

2 効率化と重点化を基調とした予算要求を行うこと

予算要求にあたっては、局内の事務・事業について、市民の皆さんの目線でどうしたらもっと効率がよくなるのかを考え、見直しを行い、その結果、生み出されたお金や人などの資源を、必要な事業に重点的に配分することが必要です。

そこで、

慣例や、従来の枠組にとらわれることなく、積極的に事務・事業の統廃合などを行うこと

事業効果をあげるため、限られた資源を必要な事業に重点的に配分すること
局内の議論を深め、無駄のない、効率的な事業の構築に努めること

以上、3 つの視点から、総務局全体の事務・事業の再点検を行ったうえで、予算を組み立てることとします。

3 予算要求の重点事項

元気な経済が生まれ・安心して働ける街さっぽろ

地元企業の振興を通して本市の経済を活性化させるため、首都圏における販路拡大支援等を実施する。

中小企業や創業に挑戦する市民へのきめ細やかな支援

23百万円(6百万円)

注:()内は15年度予算額

首都圏市場開拓イニシアティブ事業(東京事務所)

23百万円【重点,レベルアップ】

地元IT関連企業の首都圏進出を支援するため、東京事務所を拠点に、人と企業の交流促進、販路拡大支援等を実施する。

協働による観光振興とコンベンション事業の推進

49百万円(27百万円)

注:()内は15年度予算額

ア 首都圏シティPR事業(東京事務所) 31百万円【重点,レベルアップ】

札幌への観光客の誘致促進を図るため、首都圏をターゲットに展開してきたシティPRを充実し、旅行情報誌の紙面買取、山手線での映像放映、イベントを通じたPR等を行う。

イ 北方都市市長会共同事業(国際部) 3百万円【新規】

平成16年9月に東京で開催される「JATA世界旅行博2004」に北方都市市長会として出展し、共同で会員都市の観光PRを行う。

ウ 東アジア都市間文化交流事業（国際部）

3百万円【継続】

中国・韓国における映画等の製作関係者を本市に招き，同国の最新映像文化の紹介イベントを行う。また，招へいた人物に札幌市内等の撮影スポットを紹介し，札幌をPRする。

エ ミュンヘン クリスマス市 in Sapporo 開催費負担金（国際部）

12百万円【継続】

ミュンヘンでの年中行事であるクリスマス市を，大通公園を会場にして実施する「ミュンヘン クリスマス市 in Sapporo」実行委員会に対し負担金を支出する。

健やかに暮らせる共生の街さっぽろ

外国人も日本人と同様の都市生活を享受できるよう国際的なまちづくりを推進する。

魅力あふれる地域づくりの推進

4百万円（1百万円）

注：（ ）内は15年度予算額

国際化推進プラン推進事業（国際部）

4百万円【継続】

外国人市民に対し，生活に必要な情報を提供するシステムを充実するとともに市民，団体，外国人市民，大学等からなる会議を運営し，協働による国際化のまちづくりについて検討していく。

世界に誇れる環境の街さっぽろ

世界の北方都市とネットワークを構築し，快適な冬の都市の市民生活

の向上を図る。

ゆたかな冬の暮らしの実現

3 百万円 (1 7 百万円)

注 : () 内は 15 年度予算額

北方都市市長会議事業

3 百万円【継続】

北方都市市長会の会員都市の実務者レベルで、市長会運営及び活動、次期市長会議の開催計画などについて協議を行うために「実務者会議」を開催する。

芸術・文化，スポーツを発信する街さっぽろ

札幌の歴史を知るうえで貴重な資料となる歴史的な価値の高い公文書等の保存・活用を図る。

芸術・文化の薫る街の実現

2 百万円 (0 百万円)

注 : () 内は 15 年度予算額

歴史的公文書等保存事業 (行政部)

2 百万円【新規】

歴史的価値のある公文書等の収集整理作業を行い、将来の公文書館の整備に向けた準備を進める。

市役所改革及び市民自治の推進

総務局の役割と照らし合わせ，市役所内部の改革を進め，また，市民自治の推進に積極的に取り組む。

市役所改革及び市民自治の推進

33百万円(13百万円)

注：()内は15年度予算額

ア 市役所改革プラン策定費(市役所改革推進室) 20百万円【新規】

施政方針「さっぽろ元気ビジョン」を実行に移すための3つのプランのひとつとして「市役所改革プラン」を策定する。

イ 市民自治推進事業(行政部) 11百万円【継続】

自治基本条例制定に向けた市民論議を深めていくため，市民自治の仕組みづくりを考える市民会議を開催し，また，市民論議を喚起するため，全市及び地域において市民フォーラムを開催する。

ウ 市民参加型行政評価制度導入調査(行政部) 2百万円【継続】

これまでの事業評価制度に政策評価制度を加えるとともに，第三者評価を取り入れた新たな行政評価制度の導入に向け，平成15年度からの検討委員会を引き続き開催するとともに，第三者評価委員会を新たに設置し，新たな評価制度の運用を開始する。

その他

総務局の役割と照らし合わせ，「さっぽろ元気ビジョン」の実現に直接的あるいは間接的に寄与する様々な事業を実施する。

システム整備

274百万円(34百万円)

注:()内は15年度予算額

ア 文書システム構築事業(行政部) 137百万円【重点,レベルアップ】

本事業では,行政内部の事務処理のスピードアップ・正確性の確保及び情報公開をはじめとする市民サービスの向上を目的として,今までの紙の文書による事務処理から,電子的な文書を中心とした事務処理へ移行するためのシステムを設計・開発する。

イ 行政評価に向けた事業一元化支援システム構築事業(行政部) 32百万円【重点,レベルアップ】

行政評価で扱う各種事業情報(事業の目的,目指す成果,予算額,決算額,成果の達成状況など)をデータベース化する。その際,事業体系を整理し,予算の小事業単位を基本に事業コードを一元化することで,共通情報の有効活用を図る。

ウ 人事給与系庶務業務自動化システム構築事業(職員部) 90百万円【重点,レベルアップ】

人事給与に係る庶務的業務の効率化を図るためのシステム構築を行う。16年度は開発の前段階として,詳細設計までを実施する。

エ 新広報システム構築事業(広報部) 15百万円【新規】

現広報システムに代わる,新たな施政情報の集約・管理システムを構築し,イントラネット環境において効率的な広報活動に資する。

施設の改修・改築

355百万円(284百万円)

注:()内は15年度予算額

ア 本庁舎高層階エレベーター改修工事(行政部) 9百万円【重点,新規】

本庁舎高層階用エレベーターの老朽化対策として更新する。16年度~18年度の3カ年で実施し,16年度は基本設計を行う。

イ 本庁舎動力盤改修工事(行政部) 7 8 百万円【重点, 新規】

動力盤(設備一般に電力を供給制御するための装置) の老朽化対策として更新する。

ウ 本庁舎自家発電機改修工事(行政部) 1 7 2 百万円【重点, 新規】

非常用自家発電機の老朽化対策として更新する。

エ 本庁舎窓改修工事(行政部) 9 6 百万円【継続】

本庁舎の省エネルギーを推進するため, 国の外郭団体の補助を受けて窓を開閉化できるように改修する。

その他

9 2 百万円(6 5 百万円)

注:() 内は 15 年度予算額

ア 国連軍縮札幌会議実行委員会負担金(国際部) 1 5 百万円【重点, 新規】

札幌で開催される国連軍縮会議の実行委員会に負担金を支出する。

イ 平和都市宣言普及啓発費(行政部) 4 百万円【レベルアップ】

広く市民に平和について考え, 平和の尊さを認識していただく契機となるよう平和パネル展など平和都市宣言の普及啓発に資する事業を行う。また, 国内外の都市との連携・交流を推進するための事業にも取り組む。

ウ まちづくり基礎調査・研究(行政部) 3 0 百万円【継続】

本市が抱える構造的な政策課題, 将来を見通した中・長期的な政策課題, あるいは現在顕在化していないが将来の発生が予測できる政策課題に対し, 多様な研究手法を活用しながら, 先行的・創造的な視点, 総合的・横断的な視点に立って調査・研究し, 政策案を立案する。また, 研究成果の活用を促進するために, 研究成果を職員・市民と共有する。

エ 中国海外派遣研修事業(国際部) 4 百万円【新規】

職員を中国に派遣し, 国際的な業務への対応が可能な職員を育成する。

オ 札幌国際プラザ基金造成費補助事業(国際部) 3 0 百万円【継続】

市民の海外交流推進のための各種行事等を行う，(財)札幌国際プラザの基金造成に対して補助金を支出する。

カ 海外自治体職員受入交流事業(国際部) 3百万円【継続】

海外の地方公共団体職員を6ヶ月程度受け入れ，総合的な地域経営のノウハウや技術などを活かした専門研修を実施する。

キ ポートランド姉妹都市提携45周年記念事業(国際部) 6百万円【新規】

札幌・ポートランドの姉妹都市提携45周年を記念して，訪問団を相互に派遣し，それぞれの都市において記念行事を行う。

4 事務事業の見直し

総務局では，人件費や事務的経費を含め，事務事業の全てについて効率化の観点から見直しを行い，その結果，予算の総額は，前年を下回った。見直しの主な項目は次のとおりである。

(1) 借上げ民間ビル賃借料の見直し

本庁舎事務室のスペース不足のため，本庁舎周辺で借上げている民間ビルの賃借料について，貸主との交渉により賃借料の削減を図った。

<効果額13百万>

(2) 電話交換・案内業務の委託化

本庁舎電話交換・案内業務について，一部委託化することにより経費の削減を図った。

<効果額9百万円>

(3) 広報さっぽろ増刊号の見直し

今日的な行政課題に関する問題提起型の冊子として発行していた，広報さっぽろ増刊号について，広報さっぽろの充実で対応することにより，増刊号を廃止した。

<効果額3百万>